

平日と休日の迷惑メール数の変遷

現代教養学部〇〇学科△△専攻

knnx1001 東京子

メール利用の現状

- 迷惑メール: 大量受信により、生活や業務に支障
 - 1日に受け取るメールの約90%ほどが迷惑メールの人も[1]
 - ← 実際の業務に支障をきたして、社会問題
- 業務でのメール: 多くの人が平日のみ読み書き
 - 平日のメール: その都度読む
 - 休日のメール: 重要なものをピックアップして読む

平日に送られる迷惑メールの方が多いのではないかな?

➤ 他のメールに紛れて迷惑メールも読まれると、送信者は考えるのではないかな?

目的

- 迷惑メールの傾向の調査
 - 平日と休日で迷惑メールを受け取る件数に違いがあるかを調査
 - 平日と休日の迷惑メールの受信件数を比較



よりよい迷惑メール対策につながることを期待

迷惑メールとは？

定義[2]

サーバに過大な負荷をかけてメールサービスの機能低下をもたらすことを目論んで大量のメールを送りつけるスパムメールや、望んでもいない商品の宣伝のメールなど
利用者個人が受け取りたくないメール

• 仕組み

- コンピュータで宛先を大量に作り出し、一斉に送信する
 - 返信が来ると、そのメールアドレスが存在すると認識する
- 存在が確認されたアドレスに、さらにメールを送る

• 対策

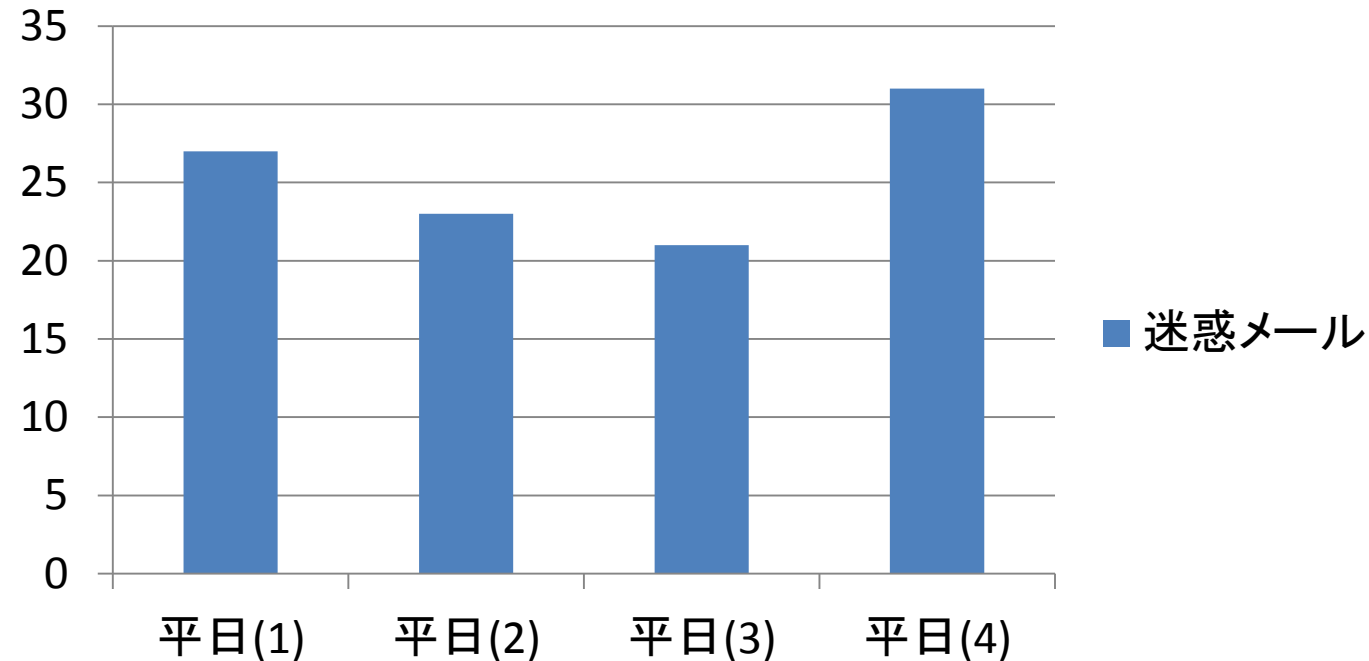
- メールソフトウェアに迷惑メールの振り分け機能により、振り分けることができる
 - ← 必要なメールが振り分けられることがあるので、確認が必要

調査方法

- 迷惑メールの件数を数えた
 - 休日(土曜日と日曜日)を合計4日分
 - 平日を4日分
 - 調査日はランダムに抽出
 - ただし、祝祭日は除外

平日の迷惑メール件数

- 調査日は、月曜日・火曜日・水曜日・木曜日と、すべて異なる曜日

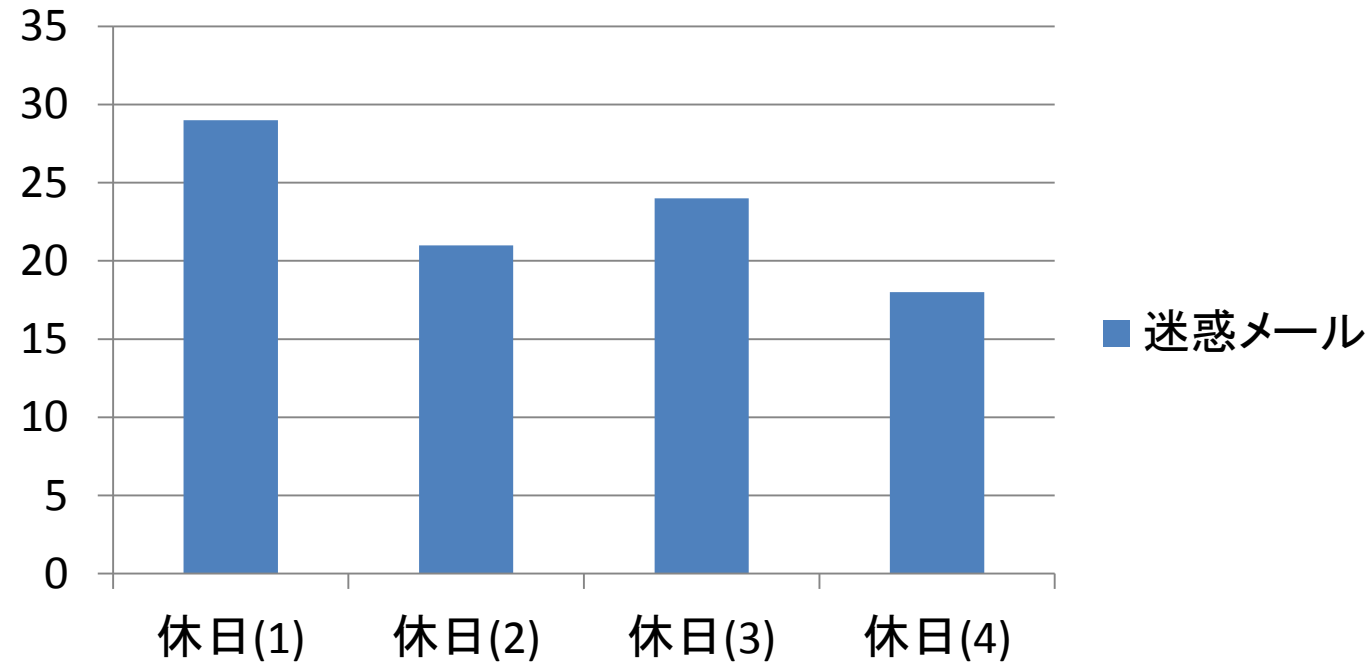


平日の迷惑メール件数調査結果

1日あたりの迷惑メールの平均件数: 25.5件

休日の迷惑メール件数

- 土曜日と日曜日がそれぞれ2日ずつ



休日の迷惑メール件数調査結果

1日あたりの迷惑メールの平均件数: 23.0件

結果と考察

- 比較

- 最少件数: 平日は21件、休日は18件
- 最大件数: 平日は31件、休日は29件
- 平均件数: 平日は25.5件、休日は23.0件



- 平日の件数の方がやや多い
- 平日でも、休日よりも件数が少ない日もある

結果

平日と休日の迷惑メールの件数は誤差の範囲内であり、差はないと考えられる

まとめ

- 調査内容と結果
 - 受信した迷惑メールについて、平日と休日の件数の比較調査
 - 結果、件数の大きな違いはなし
- 今後の課題
 - さらなる迷惑メールの傾向の分析が必要
 - 迷惑メールの内容
 - 文章の言語
 - 差出人・返信先のドメイン
 - etc.

参考文献

- [1] 善福寺花子, 迷惑メールの現状と対策, 月刊セキュリティ20nn年4月号, 東女出版, 20nn年, pp. 23-24
- [2] 東京女子大学情報処理教育運営委員会, 情報処理技法(リテラシ)I テキスト 20nn年度版, 株式会社文伸, 20nn年, p. 73